

(学校用)

様式 A-1
(FY2018)

平成 30 年 12 月 26 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 千葉市立千葉高等学校 渡邊 哲文
2. 講師氏名: Dr. Charoula K. NIKOLAOU
3. 講義補助者氏名: Prof. Stuart Gilmour ・ 笹山 桐子 様
4. 実施日時: 平成 30 年 12 月 21 日 (金) 13:30~15:00
5. 参加生徒: 1 年生 39 人、 2 年生 49 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 88 人)
備考: 理数科の生徒及び普通科 SSH コースの生徒
6. 講義題目: Nutrition and Health
7. 講義概要: 自国・ギリシアの紹介、研究者になるまでの話
栄養と健康についての話
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 60 分 質疑応答時間 20 分
 - 2) 講義方法
プロジェクター使用による講義
 - 3) 事前学習
 有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 講師からの要旨を配付
9. その他特筆すべき事項: なし

様式 A-4
(FY2018)

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(SSH のグローバル人材育成に向けた取り組みを実現するため。)

2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
- 1) 2 回以上面談 1 回面談 メール 電話
 その他()
- 2) 直接講師と 講義補助者を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()

打ち合わせ内容を教えてください。
(講演会の趣旨説明、講演要旨の確認、生徒の英語レベルの確認、学校の場所・設備の確認)

3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？
 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。
4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講義してほしかった。

5. 事前学習は行いましたか？
 行った(具体的な内容：講演の要旨配付)
 行わなかった

6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？
- ・英語が話せることで世界が広がることを知った。
・日本だけでなく海外で活躍する人(日本人を含む)にふれる。
・英語で世界を相手に自分の可能性を広げることができることを学んだので、英語を学ぶ動機づけになった。

7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？
 良かった 普通 良くなかった
良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。
- ・写真が多かった点と、クイズもあって良かった。
・講師の指導助言者である教授が途中で説明をしたときに、日本語を使用した方が、英語で説明した方が生徒の勉強にもなり良かった。イギリス出身の綺麗な英語だったので。

8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
- ・同行者の笹山さんの語り方や、日本人が勘違いしやすい diet の単語の説明など、生徒には良いアドバイスになった。
・パワーポイントの画面を、話の内容に近づけたものを数多く使う等の工夫をもった方が生徒には理解されやすい。スクリーン内の文字や写真が小さい。

9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない
*ご協力ありがとうございました。